

## 学生さんの感想

教師と保護者との信頼関係	
Aさん	大学の授業の中で、学校や子どもの実態について学んできたが、保護者から実際に生の声を聴き、現状ある問題点を知ることができる良いきっかけとなった。自分のグループのテーマは教師と保護者との信頼関係であり、連絡手段や面談の少なさからお互いの教育目標の整合性がないことが明らかになった。改善点としてITCの活用ができたが、新たな試みのため、学校内でなかなか浸透せず、時間がかかると思われる。このように保護者の意見を聞く機会は大変貴重であり、このような機会に参加できたことを学びとして蓄えていきたい。
Bさん	今回の交流会を通して、保護者の方は先生に対して伝えたいことを伝えられている人は少ないということが分かった。交流していく中で、先生と話す機会や手段がないため学校での子どもの様子や担任の先生のことなどが全く分からないので、不安になることがあるという意見が多かった。今はICTを使うことが増えているので、子どもに教える場面だけでなく、保護者と話す機会を増やすツールとしても使えることが分かったので、上手く活用していきたいと思った。そして、子どもだけでなく保護者の方とのコミュニケーションをとる機会も増やしていきたいと思った。
Cさん	今までにアルバイトやボランティア等で子どもと関わる機会があったが、保護者の方と話す機会をもつことは少なかったので、今回の交流会は貴重な機会であった。交流を通して、保護者の方の学校に対する思いを知ることができた。特に、保護者との信頼関係は、教師と子どもとの関係を通して構築されるということが印象に残っている。そのため、まずは子どもからの信頼を獲得できるような関わりをしていきたいと思った。 また、卒業した先輩の実践を聞いて、挑戦することや自分の環境を最大限生かすことの大切さを知った。現在の生活を見直し、少しでも将来の糧となるように残りの学生生活を送りたいと思った。
学校・教師に期待すること	
Dさん	交流会を通して、保護者の方の思いを実際に聞くことができ、とても貴重な経験になりました。その中で、印象に残った内容が2点あります。1点目は、子どもたち一人一人を見て欲しいという内容です。保護者の方と同様に子どもを見ることは、保護者や子どもとの信頼関係の源となるため、担任としてクラス全体をまとめることばかりに目を向けるのではなく、子どもたち一人一人を見ることを意識していきたいと思いました。2点目は、挑戦することの大切さです。挑戦するまでに勇気があるとは思いますが、やってみないと何も始まらないので、自から行動を起こして学びの機会を得られるようにしたいと思いました。ありがとうございました。
Eさん	私は「保護者が学校や先生に期待すること」というテーマで話し合いに参加しました。話を伺うと、保護者の方々は「実態を踏まえて、専門的な視点から積極的に支援方法を提案してほしい」「先生方の横の連携を強化してほしい」など、様々なことを学校や先生に期待しているようでした。私は、将来先生になっても、家庭の様子にどれだけ介入してよいか、よくわからず、うまく線引きできないのではないかと不安がありました。しかし、保護者の方々の「こうしてほしい」という声があれば、先生も支援がしやすくなるのではないかなと思いました。実際の現場の声や保護者の声を聞いて、将来についても考えることができる良い機会になったと思います。
Fさん	今回の交流会を通して、教師になるとなかなか聞けない保護者さんの本音をたくさん聞くことができました。私は子ども達だけではなく家族にも寄り添い、支えることができるような教師になりたいという目標があります。今回、保護者の方々の声を聞いて、子育てで大切にしていることや、教師や学校に期待していることを知り、具体的にどんな教師が家族を支えることができる教師なのかイメージできるようになりました。 今回学んだことを忘れず、家族も支えられるような教師になれるようにこれからも頑張りたいと思いました。とても勉強になったので、もっとこのような、保護者の方々交流できる機会が増えるといいなと思いました。

教師による家庭への介入	
Gさん	保護者の方の実際にお話しする機会はあまりないので、有意義な時間を過ごすことができました。私は、教師が家庭にどれだけ介入してよいかをテーマにお話を聞くことができました。お話の中で、保護者の方は教師に積極的な関わりを求めていることが分かった。しかし、家の時間はゆっくりする時間だと割り切っているご家庭が多かったので、学校でやっていることを家庭でも強制することは子どもにとっても保護者の方にも負担になることが分かった。これらのことを踏まえて、支援する上で必要である情報や、保護者・児童の思いを聞き、保護者がこの教師には安心して子どもを預けられると思うことができる関係性作りを頑張りたいと思った。
Hさん	今まで保護者支援について興味はあったけれど保護者の方から直接お話を聞く機会がなかったので今回の交流会はとても貴重で勉強になる機会であった。家庭への介入についてのグループでディスカッションしたのだが、介入は必要だと知りやはり時間が限られていても連絡帳や送迎の際などの機会を利用して保護者の方と分厚いコミュニケーションをとることが重要なのだと学んだ。ディスカッション前後の保護者の方のお話やPTAの方のお話、本学の卒業生であり現在みやぎ中央支援学校の先生のお話も普段聞けるお話ではなくとても参考になったし教員になった時にはこれらを活かして行動できるようにしたいと思った。
Iさん	保護者との交流では、教師と家庭についてたくさんお話を聞き、教師は積極的に家庭に介入して、保護者や子どもの負担にならないように注意すること、関係機関や取り組みなどを紹介してほしいということ、家はリラックスする場所なので、宿題は保護者と相談して出すこと、学校できているから家庭でも取り組ませるといような強制ではなく、「～こうするのはどうですか」と提案の形で紹介する方がいいなどの意見があることを知りました。また、満窪先生のお話で教員になって挑戦し続けることが大切で、その実践をお聞きしました。教師をする上で、一人ではなく、保護者や子ども教師同士支え合うことが大切だと分かりました。